

## 指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和 4 年度）

施設所管部署	生きがい・交流部 文化振興課
評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日
評価対象年度指定管理料	1 8 6, 9 0 6, 0 0 0 円

## 1. 施設の概要等

施設の概要	名称	ディスカバリーパーク焼津 天文科学館
	所在地	焼津市田尻 2 9 6 8 - 1
	設置目的	科学教育及び文化の振興を図ることを目的とする
	設備の概要	(施設面積) 2, 8 2 8. 2 3 m <sup>2</sup> (施設内容) 天文台、プラネリウム、展示・体験室、展望スペース

## 2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	公益財団法人 焼津市振興公社
	所在地	焼津市三ヶ名 1 5 5 0 番地
指定管理業務の内容	<input type="checkbox"/> 天文科学館の事業の実施に関する業務 <input type="checkbox"/> 使用の許可に関する業務 <input type="checkbox"/> 観覧料の収受に関する業務 <input type="checkbox"/> 施設及び附属設備の維持及び管理に関する業務 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める業務	
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日	

## 3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		文化振興課	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 施設体制に関する評価	B	<p>協定書等に準拠した実施体制を整えており、利用者からの料金徴収、管理記録、緊急時対応、法令順守などの各項目について遅延・問題なく遂行している。</p> <p>また、公益法人コンサルタント、社会保険労務士より適切な指導を受けている。</p> <p>経験ある専門職員や有資格者を配置し、学校や市・関係団体との連絡調整も十分</p>	B	<p>外部コンサルタントや社会保険労務士等の専門家により適切な指導を受けながら協定書に準じた体制を整えている。</p> <p>経験ある専門職員・有資格者を配置して運営できている。所管課や学校等との連絡調整を十分に行い適正な体制を整えている。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底のうえ、利用者へ学習機会の提供や情</p>

		<p>に行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応については、引き続き焼津市の方針や各種ガイドラインを踏まえ、市・文化振興課と綿密に協議を重ねて可能な限り事業を継続し、利用者への科学教育の機会提供に努めた。</p>	<p>報発信を行うなど、天文・科学に親しむ機会を充実させるよう努めている。</p>
<p>2. サービス内容や水準に関する評価</p>	<p>B</p>	<p>コロナ禍においても、天文科学教育の拠点施設として、科学講座や著名な講師による天文科学講演会、教育機関や地域、企業等との連携事業を、感染症対策を講じて実施した。</p> <p>コロナ禍からの回復が見込まれてきたため、感染対策によりリモートで対応してきた特別観望会や天文科学講演会等の大型事業は、天文科学館に参加者を募り実施できた。同時にYouTubeライブ配信など、コロナ禍に対応する事業展開も継続して行った。</p> <p>来館者満足度調査では、「全体の満足度」が93%、団体利用アンケートにおいても「満足」との回答が学校団体で98%、一般団体利用が100%となり高評価を維持している。</p> <p>有料入場者数は104,952人（昨年度比+22,910人）となり、3年ぶりに10万人台を超え、コロナ禍からの回復傾向にある。同様に、団体利用についても196件（昨年度比+65件）の利用があった。</p> <p>建物・設備の老朽化が進んでおり、プラネタリウム等館内設備の故障等によるトラブルが頻発しているが、迅速な対応、市・文化振興課への報告・相談を行い、利用者への影響を最小限にとどめるように努めた。</p>	<p>B</p> <p>天文科学教育の拠点施設として、魅力ある多くの事業を開催し、利用促進に努め、天文・科学の普及に寄与している。コロナ禍に対応するリモート機能の活用や、動画配信サイトにてライブ配信など、学習機会の提供を行い、視聴者の満足度向上を図っている。</p> <p>近年、コロナ禍の影響により減少していた入場者についても、感染症対策を徹底し魅力的な事業を企画することで、回復傾向にある。また、満足度調査によるアンケートでは、昨年度に引き続き高評価を維持することができている。</p> <p>設備等の老朽化を理由として、機器故障等のトラブルが発生した場合には、市に報告のうえ迅速かつ真摯に対応し、問題の長期化や複雑化を避けるよう常に努めている。</p>

<p>3. 収支等の評価</p>	<p>B</p>	<p>予算執行については公社会計規程に基づき執行している。会計システムを導入し、会計事務所の指導のもと適正に処理している。</p> <p>事業収支については、世界的なエネルギー不足等による物価高の影響を受け、想定を超える電気料の高騰が起り運営に大きな支障が発生したため、協定に基づき市と協議の上、電気料高騰分の指定管理料の補填(5,185千円)を行っていた。同時に、事業費及び管理費の支出の抑制に努めたことに加え、利用者が大幅な回復傾向となったことで収入が想定以上に増加したこと等により、不用額を含めて5,500千円を返還した。</p> <p>経営状況分析においては、自己資本比率・流動比率等も安定しており、それぞれの指標で営利を目的としない公益財団法人として普通以上から理想とする数字を維持している。</p>	<p>B</p> <p>指定管理者独自に会計システムを導入しており、会計事務所の指導のもと適正に処理されている。</p> <p>効率的な予算執行を心掛け、経費の縮減に努めている。また、安定した財政基盤が構築できている。</p> <p>昨今の社会情勢を理由とした価格高騰の煽りを受け、予算不足が生じたにも関わらず、効率的な予算執行を心掛け経費の縮減はもちろん、自主事業収入にて不足分を補うなど、指定管理者による努力が伺え評価できる。</p>
<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>ディスカバリーパーク焼津天文科学館の指定管理者として協定書等を順守し、適正な管理に努めた。また、引き続きコロナ禍に対応し、感染症対策を講じた上で、可能な限り科学教育の機会を提供した。コロナ禍からの回復が見込まれてきたため、感染対策によりリモートで対応してきた特別観望会や天文科学講演会等の大型事業は天文科学館に参加者を募り実施し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心がけた事業展開に努めた。</p> <p>有料入場者数は3年ぶりに10万人を超え、団体利用数もコロナ前に迫る等、利用状況はコロナ禍から回復傾向にある。また、来館者満足度調査や団体利用アンケート</p>	<p>B</p> <p>天文科学館が中心となり、ボランティアや天文科学の専門機関と連携した学習機会の提供に努めた。</p> <p>プラネタリウムについては、子どもたちの興味関心をひきやすいアニメ番組の特別投影企画のほか、デジタル技術を活用しての講演会等、幅広い年齢層に対して話題性のある事業を展開し、天文・科学に親しむ機会を充実させ、観覧者の満足度向上に取り組んだ。</p> <p>展示については、職員の企画制作により経費削減に努め、親しみやすい展示は創意工夫が感じられる。</p> <p>このことから全般的な運営について評価できる点が多く、一定の水準を満たす管理内容であると考えられる。</p>

		<p>ートでも高評価を維持している。</p> <p>収支については、想定を超える電気料の高騰等により、協定に基づき市と協議の上、指定管理料の補填を行っていただいたが、同時に事業費及び管理費の支出の抑制に努めたことに加え、利用者が大幅な回復傾向となったこと等から、不用額を含めて5,500千円を返還し、経営分析指標も公益財団法人として理想とする数字を維持している。</p>		
--	--	---	--	--

【評価区分】

評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。

B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。

C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。

D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。